

開運メークと、その根拠。

メークを変えただけで、ガラッと運勢が変わって、いいことばかり起きるとしたら、こんなすごいことない。男も、お金も、自由自在——でも、本当かな……
というわけで、興味津々、果たしてその真偽と効果のほどは。

イラスト：田島 眞

そもそも顔が「開運」って、いうくらいだから、運勢とか、いかにかも信じてないって人には、ちょっと縁のない感じだけれど、でも、本日にメークで運が開けて、恋愛運も金運も、なっているのなら、これはほっとくはずはないぞ、とメークっわけ。

まずは古い文献に詳しい「G. ダビデ研究所」の井上邦彦さんに聞いてみた。

「東洋の面相は、中国でできたものですが、こんな目の形の人は、うた、といったデタラメの積み重ねによる、統計学的なものをうらつけた部分、もう一つは四柱命や五行などの易の理論からくるもの。それがミックスされてでき上がったものと考えていいでしょう。ですから、解釈の内容も、人によってかなり違ってくることもあります。」

それと、昔からの面相学と、現代のメークとしては、意味もずいぶん違ってます。だから今は、古いものよりも、フエイスウォッチング、マフウォッチングとて、例えば「仕事があまくいくには、どんな顔か

いいか、と逆に着想して、メークにあてはめていくようなのが、現代的な開運化粧法、ということになるでしょう。というわけで、「開運メーク」はある種の「目黒」出法というふうな考え方もできるよ。

メークで自分の運勢の3分の2まで変えられる。

下の2つのイラストは、「運を呼ぶ化粧」逃す化粧の中で紹介されている30の目的別開運メーク術から、2つを抜粋してイラスト化したもの。著者の竹田亜希子さんによれば、

「昔からの開運化粧法は、女らしく、いい結婚ができるようにうらという希冀がすべてでした。除腸（い）は、瞳、目、鼻口など、顔の中の部分はずべて陽の性格を持つものなので、なるべく明るく、主張しないように、という化粧法でした。この本は、いい人相をメークで作るという発想は同じですが、いい人相というのを多様化させ、遊んだり、楽しむ感覚でいろいろやってみよう、というのです。」

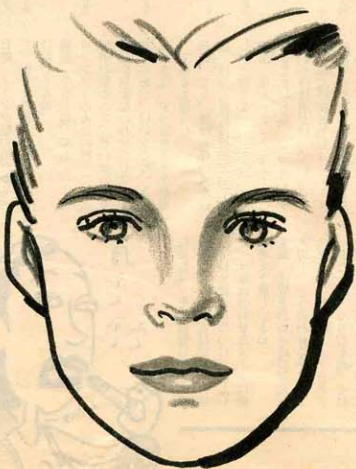
ば運勢も変わる、ということ。人相を変えることで自分の性格が変わり、ひいては能力まで変わってくる。そして同時に、他人に与える印象が変わり、対人関係をも変える、と竹田さんは言う。

「でもメークだけでは、本質的には変わらない部分も、当然残ります。同じメークをつづけて、目黒ともそのイメージが定着したとして、それでも多少くらいまでそのつと変えて楽しむメークだったら、表面的インパクトがほとんどだから、よからせいでいいくらいでしょう。」

それでも、目や口、眉などは男運との関係が深いので、メークで形を変えずに、分だけ、運勢にも大きく影響する、というわけだ。

「後家相と呼ばれる太い眉、大きな口も、現代女性にとってはいい相にもならないというわけ。そして、いい髪型を築く昔ながらの「男運」に対し、恋愛的に恵まれることを意味する「男縁」に、後家相は恵まれることも多いのです。」

玉のこしに乗るメーク「名門編」



ポイントは、高い鼻、プライドの高さや高格なものを好む性格を表す。鼻すじにはハイライト、サイドにシャドー。金運に恵まれるため、小鼻にも少しハイライトを入れ、強調する。眉は輪郭クッキリ、ふちどりを。目はパッチリさせずに、芯線深さを表わす。さらに「天窓」と呼ばれるTゾーンの美しさも、玉のこしの運勢を呼ぶ。空入りスッキングアを。髪はアップにする。



アフター5で、もてるメーク

第1のポイントは、ほってりと厚い唇。パールもつかって、ほみ出すくらいにめもつと分厚く、白い肌のために、明るめのリキッドファンデーション。眉は心もち長く、アーチ高。眉間を広くすると、開放的な、笑いに乗りやすい性格を表す。目は、すこし下向った大きな目。鼻すじは、シャドーを入れて高く見せると、男が嬉しい。目の線から眉にかけては恋愛運を高めるピンクで。